

## 令和4年度（2022年度）自立支援・重度化防止等に資する新たな取組等に関する 説明会アンケート結果のまとめ

回答数 35 事業者（研修会参加事業者数 51 事業者）

回答率 約 68.6%

### 【1】研修会参加状況や研修会内容の理解について

#### （1）説明会参加事業者のサービス種別について

サービス種別	事業者数	割合
居宅介護支援事業所	32	62.8%
通所型サポートサービス	4	7.8%
訪問型サポートサービス	2	3.9%
地域包括支援センター	13	25.5%
合計	51	100.0%

#### （2）アンケート回答事業者のサービス種別について

サービス種別	回答数	割合
居宅介護支援事業所	23	65.7%
通所型サポートサービス	3	8.6%
訪問型サポートサービス	2	5.7%
地域包括支援センター	7	20.0%
合計	35	100.0%

(3) 令和3年度介護予防・日常生活支援総合事業研修会(1/28開催分)アンケート結果に関する解説について、理解できましたか。

	回答数	割合
よく理解できた	21	60.0%
知りたい内容ではなかった	0	0.0%
理解できない部分があった	14	40.0%
未記入	0	0.0%
合計	35	100.0%

(4) (3)で「知りたい内容ではなかった」を選択した場合は、その知りたかった内容を記載してください。

意見等
<p>・「卒業」という言葉が出てきます、介護予防や総合事業で卒業という言葉を使うようになったのでしょうか、「卒業」という言葉に意図はありますか？以前、研修依頼をした際に、当方が「卒業」という言葉を使うと不適切であると説明を受けたことがありましたので、何か、変化があったのか教えてください。</p>

## **【2】吹田市高齢者安心・自信サポート事業の1回算定について**

(1)「高齢者安心・自信サポートサービス事業の1回算定」について御意見や御質問などがあれば、記載してください。

意見等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様にとっては、安定した支援の確保、必要な支援を受けることができるので、良い制度だと思いました。</li> <li>・1回算定が必要な状況の利用者様がいらっしゃらなかったため、また今回制度上利用できることがわかったため、必要に応じて活用させて頂こうと思います。</li> <li>・利用者さんが都合よく解釈しないように、説明するときに注意しなければいけないと考えた。基本は月額報酬との事なので、1回算定ありきでは説明しないつもりです。</li> <li>・利用者によっては、訪問型サポート事業で週2回必要と思われるケースで事業所の都合により週1回しか組めなかったり、通所型サポート事業で入浴とリハビリでの事業所の使い分けができるようになるので、利用者の状態に沿ったサービスが組みやすくなりました。</li> <li>・1回算定についての理解はできました。</li> <li>・研修会、誠にありがとうございました。希望される方がおられる際、必要な方に正しく説明できるようしっかりと理解を深めさせていただきます。</li> <li>・理解できました。ありがとうございます。</li> <li>・理解できました。</li> <li>・今回の説明会で理解が深まりました。</li> </ul>

- ・2022年の4月より開始とのことだが、サービス事業所への周知はどのようにされているのか？
- ・今回の1回算定を開始するにあたり事業所の重要事項説明書、運営規程などは吹田市が公開している令和3年4月版のものから変更の必要性はあるか？
- ・デイサービスの2か所利用の1回算定は良いと思われたが、通所介護事業所においては大変やりにくいのではないかと思います。
- ・「複数の事業所を利用する場合」がよくわかりません。週1回の利用で、複数の事業所を利用しなければならない具体例を示していただきたいです。
- ・通所型サポートで、デイサービスとデイケアの2か所というのも可能なのでしょうか？その場合デイケアも1回算定（サービス項目は、予防通所リハビリ・日割）で算定できるのでしょうか？
- ・週に1回のヘルパーが来れないことなど、有るのでしょうか？そんな事業所がありますか？コロナで行けなくなったなど聞いたことはありますが曜日変更で賄えると思います。2か所のデイサービスへ行く必要性もあまり理解できません。
- ・ヘルパーの利用を週3回必要とアセスメントした場合、週3回提供できる事業所が見つからず週2回A事業所週1回B事業所ということも可能ということだと理解したが合っているか。  
また全ての算定を1回算定となると理解しているがサービスコードは訪問型独自サービスVIを算定することで合っていますか？
- ・もともと要支援は月額報酬制となっていたはずだが、1回算定と月額報酬制を混同するのであれば全て1回算定にしてもいいのではないか。（包括内の意見）
- ・通所サービスも複数利用できるの話でしたが、入浴サポート+他通所介護ということではなく、通所介護が2つ利用できるという説明でしたがそれで間違いないでしょうか。説明会では、一日デイ+半日デイでの説明でしたが、一日デイ+一日デイあるいは、半日デイ+半日デイでも構わないのでしょうか。デイにはそれぞれの特徴があり、何故、2事業所を利用する必要があるのかをしっかりと計画書に記入すれば、色んな使い方が可能となるのでしょうか。
- 通所介護にデイケアも含まれるのでしょうか。（デイケアとデイサービスを一緒に利用できるのか）
- ・要支援2の利用者が週1回ずつ2か所の事業所に通所した場合は、要支援2の週1回利用を2か所の事業所で算定できますか？
- ・特に訪問型サービスについては、要支援の利用者で希望される方の場合、調整困難な状況が続いています。1回算定方式で、調整が改善されればよいですが…。NT地区は、事業所が非常に不足しているように感じます。

### 【3】広報インセンティブについて

(1) 「広報インセンティブについて」の御意見や御質問があれば、記載してください。

意見等
<ul style="list-style-type: none"><li>・要件 A なら可能だと思いました。</li><li>・★マークは年 1 回付与となっているが、★を継続するためには要件 A と要件 B か要件 C のどちらかを毎年満たすことが必要ということか？</li><li>・抜け道はありそうな気がします。包括や居宅介護支援事業所からの希望でこのようなシステムが作られたのでしょうか、行政が事業所の頑張りを評価するために作られたのでしょうか、いまいちピンとこないです。確認や基準づくりが大変そうです。</li><li>・事業所や利用者のメリットが理解できなかった。具体例を挙げて★が増えるとうなるか教えて欲しい。</li><li>・自立支援の取り組みの見える化というのは、とても重要なことであるので、良いことだと感じました。しかし通常、退院後にリハ型通所サービスやヘルパー利用をしていた方が、卒業にてケアプラン自体終了する方への取り組みについては、どう評価されるのかがわかりにくかったです。</li><li>・インセンティブを行う必要性は何なのでしょう。説明では、何故、インセンティブを行うようになったのか。必要性は何なのか。事業所のメリットは何なのか全く分かりませんでした。インセンティブについて分からない人に向けた説明をしないと、早口で話しが進むだけで何も理解できませんでした。</li><li>・自立支援・重度化防止の取組と市民への情報発信は必要と思いますが、広報インセンティブの付与についてなぜ必要なのか理解ができません。</li><li>・インセンティブについては難しいと感じました。</li><li>・★の獲得は、なかなかハードルが高いと感じました。実際にお元気になられて卒業される方は、ほとんどと言って良いほどいらっしゃらないので、今一度、アセスメントも含めて支援のあり方を検討してみる良い機会かと感じました。</li><li>・ハードルが高すぎると感じました。</li><li>・決定事項なので、意見は控えます。</li><li>・研修等は負担に感じるところがあります。自立支援に向けて取り組みは大事だと思いますので、包括と相談しながら取り組みたいと思います。</li><li>・要件 B,C に該当するケースが無ければ★はもらえないということですね。元気な高齢者にはすでに自立は目標だが、ケガや病気になれば、気持ちはもとに戻ることは難しい。高齢者の意識改革の底上げも必要と思われる。</li><li>・要件 B について 自立支援については理解できましたが、特定事業所なので予防の方で骨折され整形受診し、一時的にサービスを受けられる方より予防でも疾患等でサービスを受けられ、今後回復するかわからない方が多い。要支援のまま状態が悪くなり看取りになるケースもあります。条件的には難しいと感じました。</li><li>・すみません。申請等が分かりにくく再度資料を読み込んでみますが再確認必要なら連絡させていただきます。</li><li>・デイの事業所においては短期集中の取組を行っている事業所であれば★マーク取得可能と考えるが、ヘルパー事業所においては市の OT への相談を行うように CM が対応してもらえなければ取得が不可能になってしまう。CM に対してヘルパー利用の部分について、市の OT 活用のアプローチを積極的に行ってもらえるように事例などを提案していくなどが、必要なのではないか。ヘルパー事業所から CM にアプローチしても、動いてもらえないのが現状ではないかと感じます。</li></ul>

・改善率を出してパーセンテージを追いかける作業が時間を要し大変なのではないかという意見が包括内であがっています。

・短期集中の利用者は運動への意欲が高く、卒業せずに利用し続けたいとおっしゃる方が多いです。自立のために通所サービスの利用を継続したいと考えておられますので、自立への意欲が高いと思いますが、本人の意向に事業所が沿うと★がつかなくなってしまう、矛盾しているような気がします。

・自立支援の取組は、様々な状況から非常に大切であると実感しています。が、実際はなかなか厳しい…と感じています。市民 1 人 1 人が、介護予防の大切さを理解・取組していただくことが必要だと思っていますが、実際はその難しさも感じています。